



No.343
2022年11月22日

江東区労連ニュース

江東区労働組合総連合
〒135-0011 江東区扇橋 1-12-20
江東教育会館内
Tel.03-5606-5285 Fax03-3649-0131



健康相談や労働相談をする人たち (22/11/3)

「い」との相談が。担当者がすぐに保護につなげるようにしました。ある相談者は「実家を壊さなくてはならない、今後の生活をどうしたら良いか」などなど。ある残留帰国子女の親族は、「日本語があまり話せないなかで19年続けたパートで、上司が変わったとたんにイジメがはじまり、ほかのパートも一緒になくなって自分をいじめる。体調を崩してうつ病診断さ

区民要求実現江東大運動実行委員会は11月3日、江東区内で第14回江東なんでも相談会を実施しました。3回目となるフードバンク食糧支援も行いました。スタッフは13団体22人が参加しました。相談は生活・介護・健康・税金・年金・労働など多岐にわたりました。法律相談も7件と多く、全体で18件の相談が寄せられました。

合わせて行われたフードバンクには64人が来所して、お米やレトルト・インスタント食品、果物をつめた袋を手にもっていきましました。コロナ禍になり3年近くが経過してコロナと最近の物価高によっていっそう生活が苦しくなっている実態が明らかになりました。ある71歳の女性は「生活保護を受けたい、電話がないので、仕事も探すことができない」との相談が。担当者がすぐに保護につなげるようにしました。ある相談者は「実家を壊さなくてはならない、今後の生活をどうしたら良いか」などなど。ある残留帰国子女の親族は、「日本語があまり話せないなかで19年続けたパートで、上司が変わったとたんにイジメがはじまり、ほかのパートも一緒になくなって自分をいじめる。体調を崩してうつ病診断さ

第14回江東なんでも相談会開催

コロナ禍と物価高でダブルパンチ いっそう苦しくなる庶民の生活

「困っている」というものの。会社との団交も視野に、生活保護を受ける権利があるから、保護の申請をしようというアドバイス。フードバンクも農民連からのお米とカンパでいただいた洋なしを見て、笑顔でもらっている姿も。



参加者全員で記念撮影 (22/11/12)

江東区労連青年部は11月12日に第22回青年部総会を江東区文化センターで開催しまし

早く交流企画したい！ 江東区労連青年部第22回総会開催

た。総会には代議員・来賓など11名が参加しました。松丸副部長が開会を宣言、大会議長に名越さん（東京土建江東支部）、選挙運営委員に原田さん（日本機関紙印刷所労組）を選出し、議事に入りました。青年部を代表してあいさつした松井青年部長は「現在、ロシアのウクライナ侵略によるエネルギー価格の高騰や異常円安による物価高が国民の生活を圧迫している。早急に最低賃金の引き上げを実現しよう」と述べました。次に、来賓の千保さん（東京地評青年協）、川邊さん（全印総連東京地連青年部）、長谷川さん（

江東区労連常任幹事）から激励をもらい激励をもらいました。21年度経過報告を常任委員の諸隈さん、22年度運動方針案を松井青年部長から提案し、質疑・討論に入りました。今年もコロナ感染拡大の影響により分散会は行いませんでしたが、参加した青年部員から「交流する機会がコロナの影響で減ってしまっているが、次年度は交流企画を行なってほしい」と要望が出されました。その後、21年度経過報告と22年度運動方針案は参加者全員の拍手で承認されました。最後に22年度青年部役員を選出、新役員を代表して松井青年部長があいさつを行いました。閉会しました。

☆

☆

22年度江東区労連青年部役員は次号でお知らせします。

江東区労連からのお知らせ

- 第40回江東区労連秋の学習と交流のつどい
 - 日時…11月28日（月）18:30-20:30
 - 会場…江東区産業会館第4～6展示室
 - 内容…『雇用によらない労働』拡大の動き・労働法制改悪にとりくむか
 - 講師…平井康太弁護士（東京法律事務所）
 ※東京都労働相談情報センター亀戸事務所の自主的労働教育助成事業です。多くの仲間を誘ってご参加ください。
- 江東区労連第6次組織化宣伝行動
 - 日時…11月30日（水）
 - 場所…東大島（17:30-）、東陽町（7:30-）辰巳・新木場（8:00-）
- 第208回憲法9条守ろう・9の日宣伝行動
 - 日時…12月9日（金）
 - 場所…東大島（17:30-）、東陽町（7:30-）木場・辰巳・新木場（8:00-）
 ※宣伝行動はコロナ感染状況によっては中止する駅頭もあります。責任団体にご確認ください。

2年ぶりに集まった！ 地域労組こうとうが組合員交流会

【地域労組こうとう発】地域労組こうとうは10月26日、江東区内で、おおよそ2年ぶりとなる「組合員交流会」を第1回執行委員会と合わせて開催し、34人の組合員が参加しました。

以前は組合事務所で料理を作りながら飲んで楽しく交流できていましたが、コロナ禍で感染拡大防止や人数が増えたため、組合事務所が手狭になったため公共施設での開催となりました。最初は執行委員会として開催し、委員長のあいさつと松井書記長から経過報告があり、現在地域労組こうとうの組合員が319人になったことが報告されました。各分会や労働相談の状況も併せて報告されヤクシ化成、日中海運、ユーロトレーディング、清水オクト問題が解決した一方、新たな労働相談から団交を行っている状況も報告されました。会議が終わってからは交流会。委員長の音頭で乾杯。オードブルも一人づつのおつまみでの交流ですが、久しぶりの交流会。初参加の仲間も多く、分会を結成した

東洋管財分会の仲間も6人が参加、パワハラで団交を予定している仲間など最年少17歳から84歳の仲間まで交流しました。次回は12月7日です。



原宿駅前でする仲間 (22/11/6)

めっちゃ労働組合好き？ 青年ジャックII大宣伝行動

東京地評青年協は11月6日、原宿駅前青年大宣伝行

動「東京ジャック」を行い、23団体67人が参加して原宿の街ゆく人たちに訴えました。江東区労連青年部からも多数参加、ジャック実行委員会事務局長には江東から制限さんが引き受けました。参加者はリレートークやシールアンケート、チラシ配布、プラカードアピールなどで労働組合の魅力などを訴えました。リレートークでは12人が訴えました。ある保育士は「ケア労働で働く人は仕事はきついし低賃金。賃上

を実現するために署名を集めている」、学校の先生は「教師になって3年くらいは毎晩10時まで学校に残り、翌朝は子どもたちが登校してくる8時前には出勤している。残業代はゼロ。先生を増やして残業なくして働きやすい職場にしたい」と訴えました。シールアンケートでは最賃はいくら必要？との答えが一番多かったのが1500円以上(83%)、労働組合のイメージでは「知っていない」が41%、「知らない」が34%、「めっちゃ好き」が13%などで、まだまだ労働組合を知らない人が多いことがうきぼりになりました。

トピックス

■憲法9条まもろう9の日 宣伝行動

区民要求実現江東大運動実行委員会が10月19日に第206回9の日宣伝行動を実施し、3駅2団体23人が参加して、チラシ415部を配布しました。また11月9日には第207回9の日宣伝行動を3駅2団体21人が参加してチラシ465部を配布しました。

■江東区労連組織化宣伝行動など

江東区労連は10月28日に区内2駅に2労組17人が参加して宣伝行動を行い、650部のチラシを配布しました。最低賃金が改定になったことを知らせるチラシも併せて配布しました。また未組織対策委員会も10月24日にホットライン宣伝を行い3労組4人が参加、チラシ150部を配布しました。

◆ 区民によりそう江東区長を誕生させる会設立総会

江東市民連合や江東区制を考える会が10月6日、「変えよう江東区政—区政の改革をめざす会」を立憲野党なども含め59人の参加で成功させ、11月8日には「区民によりそう江東区長を誕生させる会」の設立総会が開催されました。当日は設立にあたっての規約・政策などが承認され、当面の行動などが提起されました。

労働相談の 窓口から

今回は先日開催された「第14回江東なんでも相談会」に訪れた方からの相談も紹介します。

◆ 店長が変わったとたんイジメがひどくなった(なんでも相談会・女性・パート)

江東区内のテイクアウト寿司店で19年も働いてきた女性。昨年10月に店長が異動になった。店長はシフトを作るとき自分に相談してきたが、だんだん自分だけ労働時間を一方的に減らしはじめた。だんだんと他のパートもまきこんで嫌がらせが横行して、「みんなあなたと一緒に働きたくない」「早く帰って」と言われ、今年の10月から一時間もシフトに入れなくなってしまう。体調も崩して心療内科を受診した。ら「うつ病」と診断された。(対応)生活も苦しく夫は残留帰国子女で日本語もうまく話せず、腰を痛めて全く働けない、年金も受給できる年限が足りない。生活保護を受

給しながら、会社と交渉をいいていく方向でアドバイスしたが、娘さんは「生活保護なんかもうものではない」と同意してくれないらしい。自己責任論による生活保護は恥ずかしいことだという感覚がしみ込んでいて、今後組合に来るか是不透明。

◆ 退職強要(全労連ホットライン・女性・正規)

長野県に本社のあるアルミと木の複合断熱製品を製造販売している会社の営業社員。入社して1年半。半。目標に見合う営業先がない等の相談から組合に。9月末に社長に呼ばれ、2件のミス指摘され、「懲戒解雇に当たる。自己都合で退職すれば30日分払う」と退職を強要された。公然化して団体交渉を行った。会社側は退職を勧奨したことを認めたが、このまま継続して就労してもらおうことを約束した。しかし彼女は初めて採用された唯一の女性営業社員で、男性職場。職場環境的にトラブル巻き込まれる可能性も。

◆ 解雇(組合員・男性・正規)

港湾地区の運送。まだ採用されたばかりなのに、元請の会社が運賃を上げてもらえないので辞めてくれと解雇通告された。団体交渉の日程調整中。以前にもトラブルがあった会社。